

代表質問

※会派（構成員3人以上）を代表して行う質問のこと



公明党議員団
中村 豊 議員



交通マナーを守り、自転車の安全利用を！

問 自転車安全利用のルールブック作成を。

答 作成を含め、効果的な方法を検討していく。

問 交通事故減少に向けて自転車マナーの向上を図り、安全意識を高める上で安全利用のためのルールブックを作成し、幅広く意識啓発を促すべきと考えるが、ルールブック作成についての考

えを問う。

答 自転車利用者が交通ルールを守り、安全で適正な利用を促進するため、自転車利用者に対して、交通ルールの遵守や自転車乗車用ヘルメットの着用の重要性、自転車損害賠償責任保険へ加入することでのリスク軽減などを盛り込んだ、ルールブックの作成を含め、市民課前モニターでの放映など、より効果的な周知方法を検討していく。



岩国は、訪問介護報酬改定に耐えられるのか

問 各地から介護できなくなると抗議の声が上がり、研究者も「介護保険は崩壊する」と指摘している。新潟県では94%の訪問介護事業所は改定に納得せず、4分の1の事業所は「事業継続は困難」と回答した。新聞の世論調査では、回答者の8割が医療・介護部門の人手不足に不安を感じている。今後増える認知症患者の家族など、働きながら家族介護する人は300万人、経済損失は9兆円と政府は推計し、今後ヘルパー確保が難しくなる。移動時間が長く効率が悪い地域は赤字でも必死に活動し、介護保険を支えていることを隠して訪

問介護報酬を下げた。赤字事業所は約4割、12,600か所。市内の訪問介護事業所にどんな影響を及ぼすのか。

答 市内の実情把握、意見交換、対策研究で、訪問介護の安定運営を目指す。介護保険制度全体でも、適切な介護サービス提供、人材確保や事業所維持、介護予防など、市の独自施策や国への要望で、介護保険の充実に努める。



日本共産党市議員団
小川安士 議員



憲政会
貴船 斉 議員



岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業

問 本事業とにぎわい創出事業の進捗について。

答 本事業は、岩国駅前南地区市街地再開発組合が地上20階建

戸の共同住宅が、併設の4階建ての駐車場は約250台が予定されており、令和10年9月に完成の見込み。岩国市としては3階と4階の一部に図書館機能を核とした様々なスペースを配置した「にぎわい創出施設」の整備を計画している。今後、再開発組合と連携して一体的・総合的な施設整備を進め、令和10年度の供用開始を目指す。

▶ その他の質問

・空き家問題について





志政いわくに
矢野匡亮 議員



士が不足し、バスの減便やタクシーが配車できないなどの問題も発生している。本市では、こうした課題に対して、一部地域で乗合タクシー（よべるん）の実施や、第2種運転免許取得費用の助成、交

路線バスの減便やタクシー不足について

問 本市地域公共交通への取組について問う。

答 昨今では、本市のみならず、全国的にバス・タクシーの運転

通事業者におけるデジタル化の取組に対する補助金を交付する制度を今年度から実施している。今後については、一般ドライバーが運転する自家用車に利用者が相乗りするライドシェアといった、新しい運行形態も含め、それぞれの地域の実情に応じた地域公共交通について、市民の皆様のお声をしっかりと聞きながら検討する。



一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと

玖珂総合公園の人工芝グラウンドについて

問 玖珂総合公園には多目的に使われる人工芝グラウンドがあり、ホッケー競技においては、ここを拠点に育ったオリンピックや第一線で活躍する選手が巣立っている。人工芝グラウンドは相当年月が経過し経年劣化による芝の張り替えの時期にきている。人工芝グラウンドは全国大会や中国大会の開催規格に合う人工芝への張り替えがホッケー関係者からも再三要望されている。調査・研究も大切だが、張り替えの結論を出す目標年次について伺う。

答 人工芝グラウンドについては、ホッケーやサッカーをはじめとしたスポーツ競技の定期的な練

習や公式戦、さらには大規模大会の開催まで、多用途に利用できるグラウンドとして、年間2万人を超える方に利用されている。平成22年6月の供用開始から、14年が経過するとともに、利用頻度も高いことから、経年劣化による人工芝の張り替えについて、どういった芝が団体にとっていいのか与えられた市長の任期の中で方向性を示していく。



憲政会
植野正則 議員



市民の声をきく会
中村恒友 議員



行うことによる建造物保存は喜ばしい。改修の経緯を伺うとともに、改修を機に岩国高校記念館の看板を分かり易くしていただきたい。

答 戦後、岩国高校の体育館として利用、同校の移転に伴い内部改修を経て、昭和45年、岩国高

景観重要建造物、岩国高校記念館について

問 改修総事業費およそ5億3,000万円を見込んでいることに驚いた。令和4年7月26日、景観重要建造物の指定を受け、改修を

校記念館として、また、横山自治会館として無償貸与され併用利用されている。このたび耐震改修及びリニューアル工事を実施し、歴史的、文化的な建造物としての価値を保存しながら住民が使いやすい施設として工事を進めたい。





日本国民党岩国
石本 崇 議員



ファーム事業について、先般の市民団体との協議を踏まえた市の考えを問う。

答 計画地が条例で定める抑制区域に当たることや土地所有者の立場として、計画地内の市が保有する用地を事業者を使用させることは困難。

市有地使用は困難であり事業者の対応は遺憾

問 岩国市、周南市、島根県吉賀町の境界部で計画されている(現在見直し中)大規模風力発電事業(仮称)西中国ウインド

問 これは事実上の反対表明だ。計画の見直し発表後、相当な期間、何の説明もなく住民は不安になっている。このような事業者の対応はどう思うか。

答 (市長から)見通しが立っていないと推察するが、そうであったとしても、何らかのやり取りはあつてしかるべきだと思う。誠実さに欠けていると思っている。

岩国市民憲章
錦帯橋に象徴される美しいまち岩国
わたしたちは この地を愛し
ふるさとが育てた偉人に学び 教養を高め
誇れる岩国を築き 引き継ぐために この憲章を定めます

大切にしたいもの
それは みんなの夢 みんなの命
守りたいもの
それは 豊かで美しい自然
伝えたいもの
それは 歴史や伝統 文化の通り
広げたいもの
それは 世代や地域を超えた人の和
誇りたいもの
それは 岩国の輝かしい未来

授かった子を安心して産める環境を！

問 産婦人科医不足の対策及び分娩施設の今後の取組について問う。

答 産科医確保や分娩施設の存続の重要性は十分認識しており、今後も市内の医療機関と協議を重ね、実効性のある施策を検討する。

問 産科医確保も重要だが、分娩できる助産院を新設することも一つの方法だと思う。岩国市の助産院のビジョンについて問う。

答 議員御提案の助産院の新設については、課題解決に向けた取組の一つと考えられることから、他の自治体における先進事例を参考にしながら調査・研究を

していきたい。

問 現時点における妊娠中やこれからお子さんを授かる方への助成や支援について問う。

答 出産・子育て応援給付金として合計10万円の給付や妊婦健康診査14回分の受診費用、多胎妊婦の健康診査5回分の費用を助成。また、妊産婦アクセス支援事業として、最寄りの分娩施設までの移動時間が約60分以上かかる方に対し、移動費等の助成を行っている。



岩国青嵐会
川口隆之 議員



市民クラブ・草の根
広中英明 議員



も募集を実施してほしいとの声があるがいかがか。

答 議員御指摘の「がんばる農業経営体支援事業費補助金」は本年度より始めた市独自の農業者支援事業で機械購入や施設整備等の事業費の3分

がんばる農業経営体支援事業費補助金の募集について

問 農業支援の「がんばる農業経営体支援事業費補助金」が農業をされている方から大変好評である。しかし、春だけでなく秋に

の1、上限20万円まで補助する。当初予算800万円で春募集と秋募集を行う予定であったが、大変好評をいただき開始2週間で予算の上限に達したため、秋募集はできないが、6月14日の申請期限までに申請された方には補正予算で対応するよう検討している。来年度以降は、本年度の申請状況を踏まえ、春と秋の2回の募集か、通年の募集ができるように検討する。





リベラル岩国
姫野敦子 議員



市民に喜ばれる図書館について

問 居心地のよい図書館の整備は、大事な市民サービス。先日、大阪府寝屋川市を視察し、既存の駅ビルを利用した利便性の高い快適な居場所の整備がなされ、レイアウト、機能、サービス内容に感心した。岩国駅西口に建設予定の再開発ビル内の図書館の機能や市民への配慮について問う。

答 これから建設予定の地上20階建ての複合

ビルの3、4階の「にぎわい創出施設」の中に「まちなかライブラリー機能」として、中央図書館麻里布分室と同規模の3万冊程度が収まる書架を設ける。効率的な管理や利用者の利便性向上、喫茶やICTタグシステム等の導入、午前9時から午後9時まで開館時間拡大なども予定している。駅前の立地を生かした特色ある図書館づくりを目指す。



ほんの王様 ホンスキー

いわくにしとしょかん
岩国市図書館

マスコットキャラクター

イラスト/スギヤマ カナヨ

岩国基地と保険証の廃止と美和町太陽光発電

問 米軍基地問題で、市民の安心・安全を脅かされている。空母艦載機受入れの判断について問う。

答 平成29年5月、辺野古沖の工事現場の状況で判断した。

問 現在の港湾移設は明確な基地機能強化に当たらないか。

答 基地周辺住民の生活環境の悪化が機能強化の判断基準である。

問 騒音被害が拡大している問題について問う。

答 移駐後の年度別測定値を比較してみると、令和5年度の測定値は移駐後最大となっている。

問 健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化することによる不安や混乱への対応について問う。

答 マイナ保険証を保有していない方には「資格確認書」が交付され、引き続き診療が受けられる。

問 美和町の太陽光発電所建設の造成工事による水量と水質問題について問う。

答 今後、他地域と比べ明らかに水不足が生じるようであれば事業者と協議する。



日本共産党市議団
松田一志 議員



同志会
山本辰哉 議員



スケートボード場の新設場所と構想を問う

問 新設場所選定について前回の答弁では、「より便利で、安心・安全な場所への移転も視野に入れた検討が必要と考え、移転候補地選定のため複数箇所の基礎調査に着手している」といった内容であった。あれから半年が経過した現在、新設場所は決定しているものと確信している。その新設場所と選定に至った経緯及び基本構想を問う。

候補地選定のため複数箇所の基礎調査に着手している」といった内容であった。あれから半年が経過した現在、新設場所は決定しているものと確信している。その新設場所と選定に至った経緯及び基本構想を問う。

答 選定について、騒音苦情の可能性、駐車場、トイレ用地を含めた広さ等、一定の条件をクリアすると思われる市所有地等の周辺を現地確認した上で、基礎調査の対象として適切と思われる14か所を事前に抽出した。これらを評価した結果、岩国市日の出町3丁目の「日の出町テニスコート隣接地」が最も相応しかったため、同地を建設予定地として選定することとした。まずは、県内、近隣を含む既存のスケートボード場を取り巻く環境、整備に係る課題等を整理した上で、整備コンセプトや方向性を決めていきたい。



市民クラブ・草の根
重岡 邦昭 議員



産業用地造成に向けた協議の進展状況を聞く

問 熊本県菊陽町に世界最大手の台湾半導体企業TSMCが進出した。投資総額は約3兆円、経済産業省は約1兆2,000億円の補助金を

出し支援をする。国は、海外資本の導入、国内企業の支援に積極的になっており、県も半導体企業や物流センター誘致に動き出している。しかし、県内の市町に、新たな大規模産業用地の開発計画はなく、誘致に対する受皿がないと聞く。こうした中、各市町も産業用地開発

に取り組んでいるようだ。本市も積極的に産業用地造成に取り組む必要がある。他市町に後れを取れば、本市の経済力、労働力が流出する。については、本市の産業用地造成に向けた取組と県との協議の進展についてお聞きする。

答 岩国錦帯橋空港など、交通インフラが備わっている本市の優位性を最大限に生かし、企業誘致を力強く展開するためには、一定規模の産業用地を早期に確保することが重要である。現在、県と連携しながら、山口県産業団地整備方針に基づく第2期事業の候補地も含め、早期の産業用地の確保に向けて取り組んでいる。

保育士確保のための環境整備を！

問 県内他市では、市内の保育施設への就職に対する助成金や給付金等を行うことで、保育士確保に努めている。本市も岩国市で学んだ学生や多くの皆様から岩国市を選んでいただけるような、魅力ある支援策を設ける必要があると考えるが見解を問う。

答 保育士確保は喫緊の課題であるので、岩国短大、保育・幼稚園両協会とも協議を行いながら有効な方策について今後検討してまいりたい。

問 保育士の負担軽減のためにもICT導入は必要であると考えますが、現在の状況について問

う。

答 ICT導入に向けて、昨年度プロジェクトチームを立ち上げ議論を始めるとともに、一部機能を試験導

入し、保護者、保育士双方から好評を得た。今年度はより具体的な検討を行うとともに昨年度好評であった「欠席連絡フォーム」を全園導入し運用開始している。今後も効果的な導入に向け検討を行っていく。



公明党議員団
野本真由美 議員



公明党議員団
奥江 徳成 議員



断らない相談支援体制の整備について

問 断らない総合的な相談窓口があれば、スムーズな支援につながるのではないかと思います。今ある制度を使いつつ断らない

相談窓口設置に向けての取組を進めるべきと思うが、考えを問う。

答 総合的な相談窓口があることは、市民の立場から見ればスムーズな支援につながり、市民満足度の向上にもつながるものと考えられる。庁内

の会議でも総合相談窓口を設置することが望ましいのではないかという意見もある一方、人員確保などの問題もあり、本市での実施は難しいのではないかという意見もある。例えば、既存の窓口で所管以外の相談も受けることができるような体制をつくる等、他部署や関係機関との連携を強化することで、総合的な相談窓口と同様な機能が果たせる体制づくりも一つの案であると考えている。



日本共産党市議団
長岡辰久 議員



重要土地等調査法、教科書採択について

問 約1万世帯、約2万人以上の市民が重要土地等調査法の対象になっているが、注視区域等に指定されていることや、どのような措置が講じられるかについて理解していないと思われる。再度、市報等で周知を求める。

答 内閣府のHPや、リーフレットの配布等で広報しているが、より分かりやすい方法を検討する。

問 中学歴史教科書採択で2回も連続で誤りが

あり、公平性・透明性に疑念が生じている。採択に関する全ての会議を公開することが必要だと思うが見解を問う。

答 公正・公平な採択に向けての協議及び審議を行うための環境、いわゆる静ひつな環境を確保するため、非公開で行う。



本市の次期地域防災計画の記述の見直しを

問 岩国市地域防災計画には、海溝型である南海トラフ地震のほか、大竹断層や中央構造線断層帯による内陸地震についての記述はあるが、山口県地域防災計画には、その「関係性」にも言及している。重要な点であり、次回見直しの際、液状化の記述の追加も検討すべきと考える。

答 本計画は、毎年、必要に応じて見直しを行っている。県では令和6年能登半島地震を受け、防災・減災対策のほか、地震や津波の被害想定の見直しを実施している。山口県地震・津波防災対策検討委員会における震度や液状化の危険度、津波

や被害想定の見直しを踏まえつつ、より実効性の高い岩国市地域防災計画の見直しを行っていきたい。



公明党議員団
桑田勝弘 議員



志政いわくに
丸茂郁生 議員



新岩国駅周辺の駐車場不足について

問 新岩国駅前広場改修事業によって、利便性の向上に期待しているが、一方で、新幹線の利用者からは、新幹線に乗ろうとしたが、駐車場がいっぱいで、新幹線に乗り遅れた。車を停めることができなかつたので、そのまま高速道路を使ったなど、駐車場がなくて困ったという数多くの声が上がっている。不安解消のため、新幹線を安心して利用できる環境整備は必要であることから、周辺の駐車場不

足の解消対策についての考えを問う。また、JR西日本に対して強く要望していくよう求める。

答 新岩国駅周辺を含めた駐車場不足については、新幹線を運行しているJR西日本において、新幹線を利用される方々のために対応していただく必要があり、「西日本旅客鉄道株式会社に対する要望」の中に、新たに「新岩国駅駐車場の確保」を追加して要望を行っている。駐車場不足の解消に向け、JR西日本と意見交換を行い、公共交通の利用促進の観点からも市として何ができるか検討していく。